2023　年度　授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)		科　目　区　分	専門分野	授業の方法	講義
科　目　名	医療安全管理学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(1)　時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	後期	教室名	第3校舎 702教室
担 当 教 員	藤原　真喜子、専任教員	実務経験とその関連資格	実務経験23年、資格:看護師、がん放射線療法看護認定看護師、核医学診療看護師			

《授業科目における学習内容》

患者中心の医療を提供するためには、医療チームを構成する各専門職が協働し、各々の役割を果たすことが重要です。そのためには、チームを構成する他の医療職の役割を理解することが必要になります。本科目では、診療放射線技師協働することの多い、看護師の役割と、看護の視点を学習します。また、平成27年4月1日より診療放射線技師法が改正・施行され、医療現場において抜針等の業務が診療放射線技師の業務範囲に含まれることになった。本科目では、拡大された範囲の内容について演習も含めて学習する。

《成績評価の方法と基準》

受講態度、課題レポートを総合的に評価する。評価の基準は、この授業で達成すべき目標をどの程度理解したかによる。

①筆記試験 + レポート　70%
②出席評価点　20%
③平常点(授業へ取組む姿勢)　10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

ナーシング・グラフィカ　基礎看護学(3):基礎看護技術
配布資料

《授業外における学習方法》

予習、復習

《履修に当たっての留意点》

グループで実習を行うが、誰かに任せず全員が主体的に取り組むこと。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護の概要・専門性について理解する	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	看護の概要について		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護の概要・専門性について理解する	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	看護の専門性について		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護の目的と役割機能について理解する	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	看護の目的と役割機能について		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	対象の発達段階とその対応について理解する	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	人間の発達家庭とそれぞれに合った対応について		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	対象の発達段階とその対応について理解する	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	人間の社会生活における役割と個々への対応について		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者の安全・安楽・感染予防について理解する	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	感染予防・安全対策について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者の安全・安楽・感染予防について理解する	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	感染予防・安全対策・患者の安楽を考えた対応について		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療チームを意識した行動について説明できる	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	チーム医療における看護師と診療放射線技師との協働について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	静脈路の穿刺・抜針・止血に関する必要な知識と医療安全について理解し、安全に適切に実践することができる。	配布資料	上腕血管解剖の復習
		各コマにおける授業予定	静脈路の穿刺・抜針・止血に必要な知識と技能 ＜シミュレーションによる実技演習＞		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	静脈路の穿刺・抜針・止血に関する必要な知識と医療安全について理解し、安全に適切に実践することができる。	配布資料	前講義内容（第7回）の復習
		各コマにおける授業予定	静脈路の穿刺・抜針・止血に必要な知識と技能 ＜シミュレーションによる実技演習＞		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	下部消化管検査や下部消化管カテーテル挿入・吸引に関する必要な知識と医療安全について理解し、安全に適切に実践することができる。	配布資料	下部消化管解剖の復習
		各コマにおける授業予定	下部消化管検査、下部消化管カテーテル挿入・吸引に必要な知識と技能＜シミュレーションによる実技演習＞		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	下部消化管検査や下部消化管カテーテル挿入・吸引に関する必要な知識と医療安全について理解し、安全に適切に実践することができる。	配布資料	前講義内容（第9回）の復習
		各コマにおける授業予定	下部消化管検査、下部消化管カテーテル挿入・吸引に必要な知識と技能＜シミュレーションによる実技演習＞		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染管理や対策の概要、個人防護具の概要、目的、使用方法等を理解する。また、手指衛生の概要を理解し演習にて実践できる。	配布資料	特になし
		各コマにおける授業予定	感染、標準予防策、個人防護具の概要、 手指衛生演習（手指消毒）＜実技演習＞		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	手指衛生の概要を理解し演習にて実践できる。 医療施設における清潔・不潔の概念を理解し、実践することができる。	配布資料	前講義内容（第13回）の復習
		各コマにおける授業予定	手指衛生演習（手指洗浄）＜実技演習＞ 清潔・不潔の概念、診療放射線技師が従事する医療現場での清潔操作、清潔ガウン着用演習＜実技演習＞		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	医用安全管理学Ⅲのまとめ、試験対策 医療安全管理学に関する国家試験問題演習	配布資料	すべての復習
		各コマにおける授業予定	まとめ、国家試験対策		